

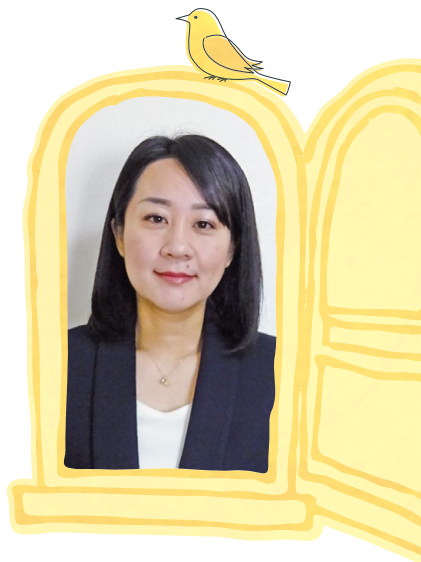
教育学コース



教育学コースとは

教育学は、その名の通り「教育」という営みを対象とする学問です。しかし、それは学校教育には限定されません。学校は教育という営みが展開される重要な場ですが、それ以外にも家庭や公民館、職場をはじめとする様々な場で教育は繰り広げられています。つまり、子どもだけではなく、私たちはいずれも生涯にわたり学び、成長しつづける存在であると捉えるのが、教育学の出発点となります。そうした意味では、ありとあらゆるものが教育学研究の対象となりますので、教育、学び、成長……に興味がある方はぜひ教育学を学んでもらいたいと思います。通常、教育学コースは5名の教員がおり、比較教育学、教育経営学、教育方法学など、多様な研究領域、アプローチに触れても

島田先生の研究



准教授
しまだのぞみ
島田希先生

私の研究は、教育方法学やカリキュラム研究という領域に位置づくものです。元々、「対話」「協働」「探究」を切り口として小学校や中学校における子どもたちの学びを対象とした研究を行っています。そうした中で、子どもの学びを生み出すとする教師の取り組みにも関心を寄せるようになりました。そこで特に注目しているのが「授業研究」と呼ばれる営みです。子どもの学びを充実させるためには、教師が学校において同僚と、さらには、学校を超えて学び合うことが重要です。わが国の授業研究は、近年海外において注目されており、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなどへと広がっています。最近では、こうした授業研究やカリキュラム開発を促す校長のリーダーシップについても研究しています。

教育学コースを選んだ理由

1 回生後期に受講した教職概論の授業がきっかけです。それまでは別のコースを希望していましたが、授業を通して自分も日本の教育、教師になろうとする人たちを支える側に回りたいと思い、教育学コースへ変更しました。

教育学コースの魅力

他大学の教育学部や教育学と比べて、市大の教育学コースは総合大学の文学部に属するため関連する他分野の専門知識にアクセスしやすく、この点は市大ならではの魅力であると思います。教員や学生同士での交流も盛んで、いつでも話を聞くことができます。

卒論テーマ例

- ・中学校外国語科（英語）のスピーキング活動における情動的足場かけに関する考察—Y 市立 X 中学校の分野別授業の事例をもとに—
- ・社会教育における学習権の再考—あいちトリエンナーレ 2019「表現の不自由展・その後」に着目して—
- ・不登校の子どもたちの居場所支援に関する一考察—他者とのつながりを目的とした「社会的居場所」に着目して—

面白いと思った専門科目

「科目名」教育学演習Ⅲ

毎週紹介される教育方法に関する文献を読み、オンライン教材上の掲示板を用いて、学生同士の相互閲覧の可能な形で発表しました。感染症対応のため変則的な内容でしたが、数人のグループディスカッションと違い、会話の流れに左右されない各人の意見を全員分見ることができ、良い経験ができたと思っています。

教育学コースにとっての『とびっ』とびっ



教育学は私たちにとって身近な営みを扱うことが多い学問領域です。そのため、教育学に触れる前から、ご自身が教育を受けてきた経験などをもとに、「こういう教育が重要だ」という考えを持っている方も少なくないと思います。こうした被教育経験と呼ばれるものは、教育学研究の出発点として大切ですが、その一方でそれにこだわると、新たな見方や考え方を発見することが難しくなります。そのため、みなさんには新しい「とびっ」を積極的に開けてもらいたいと思います。教育学コースでは、学生の皆さん同士が学び合うことができる環境づくりを重視しています。例えば、通称「146（イチヨンロク）」と呼ばれる教室のとびらを開けると、そこには教育学を学ぶ仲間や先輩、教員、さらには様々な書籍と出合い、交流することができます。ひとつでもふたつでもとびらを開いて、新しい見方に気づく楽しさを感じてもらいたいと思います。（文・島田先生）



3回生
おかだいおり
岡田伊織さん

1号館前の広場に立っていた29本のヤシの木は、長らく市大のシンボルとして親しまれてきましたが、安全管理のため2017年に伐採されました。そのうちの1本は本館地区のベンチとして再利用されています。